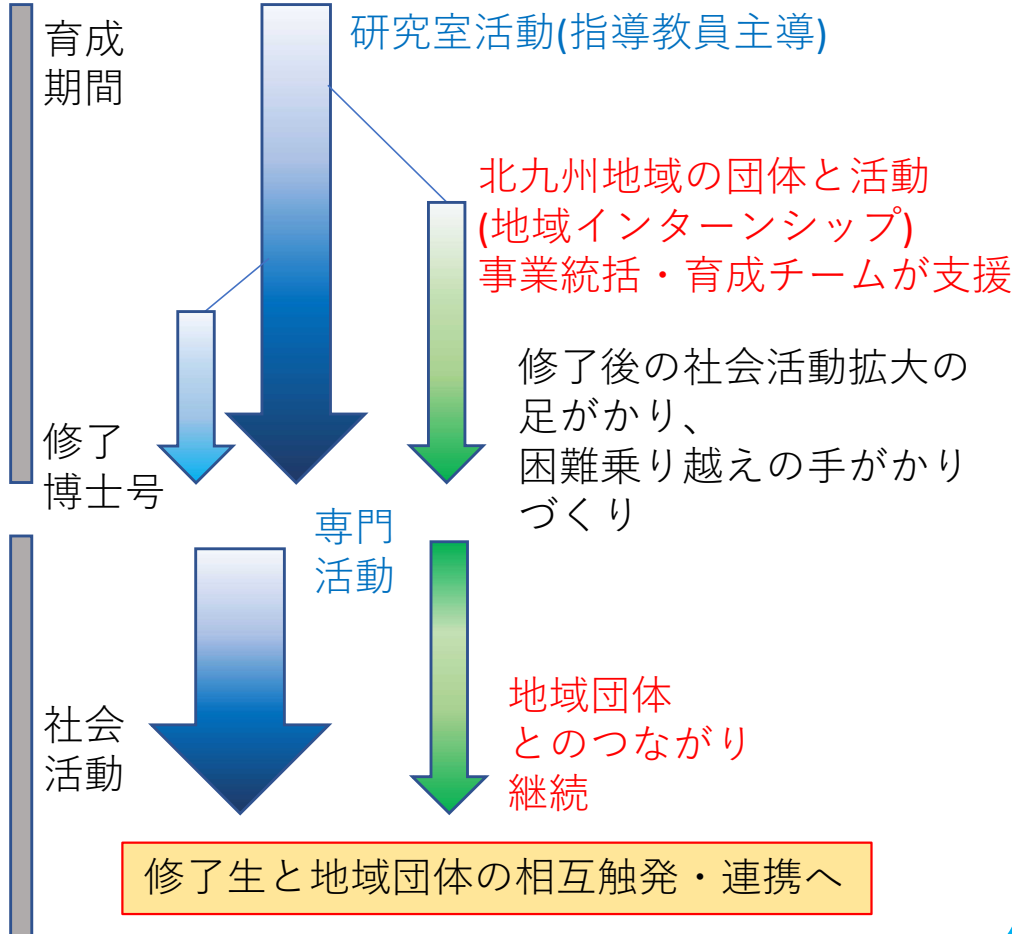




学生育成の柱と
教育コンテンツ例

- ・ 専門分野での能力強化（研究費支援、海外専門機関での活動支援等）
- ・ 異分野と協働できる能力の養成（「北九州」地域インターンシップ、異分野合宿研修等）
- ・ 国際的活動能力の養成（アジア圏でのフィールド活動等）
- ・ 柔軟性と打たれ強さづくり（地域インターンシップ等）

育成活動の核：地域インターンシップ
地域の民間・公的機関との共同活動で
学生の活動の幅を広げ、修了後も続く関係を作る



地域との連携を深め・活かすしくみ

学生の専門分野での実績・研究計画に加え、
地域での活動実績と活動予定を選定時に評価
(本学に加え、行政・民間の委員も学生選定に参加)

学生(計10名を予定)それぞれに育成チームをつけ、
地域とのつながりづくりを継続支援
(育成チーム：本学教員1名、外部協力者1名)

本プログラムを指導・支援・成果普及する
「北九州地域博士活用委員会」
北九州地域の行政、公的人材育成機関、民間企業、
環境・人材専門家で構成

地域企業等と強力なつながりを持つ文理の
本学教員が参加(地域連携博士課程運営委員会、
インターンシップ連絡会)

行政・民間による人材育成事業との連携に
向けて準備(低炭素人材育成など)